

自主臨床研究

血液腫瘍・免疫グループ

慢性肉芽腫症に対する用量調整ブスルファンと 抗胸腺グロブリンを併用した骨髄非破壊的同種造血幹細胞移植の 多施設共同第II相試験

研究の対象

活性酸素の産生能の低下を認め、慢性肉芽腫症と診断されている25歳未満の患者のうち、HLA一致、もしくは一抗原不一致のドナー（血縁・非血縁含む）から同種造血幹細胞移植が予定されており、十分な臓器機能を有し、法的保護者（20歳以上の患者の場合は患者本人）から本試験の参加に対する同意が得られた患者。

研究目的・方法

慢性肉芽腫症に対する、「フルダラビン＋減量ブスルファン＋抗胸腺グロブリン」を用いた骨髄非破壊的移植の有効性と安全性を評価する。また、移植後に免疫機構がどのように再構築されるかも探索的に評価する。

プライバシーの保護

登録患者の氏名は参加施設からデータセンター等に知らされることはない。

お問い合わせ先

大阪大学病院小児科
宮村能子